

歯科用練和物の流し込み装置

【技術分野】

機械・加工

【特許番号/公開番号】

特許第 4222681 号

【利用分野・適用製品】

歯科用練和物の流し込み装置

【ライセンス情報】

実施許諾 【可】 権利譲渡 【否】

【目的】

石膏や埋没材等の流動性歯科用練和物を所望の箇所に少量ずつ連続的に、十分満たされるまで流し込み、極力気泡を巻き込まず練和物を目的箇所に流し込める。残存気泡を歯型面の変形や損傷を来すことなく除去する。

【事業化情報】

実施実績 【試作】 許諾実績 【無】

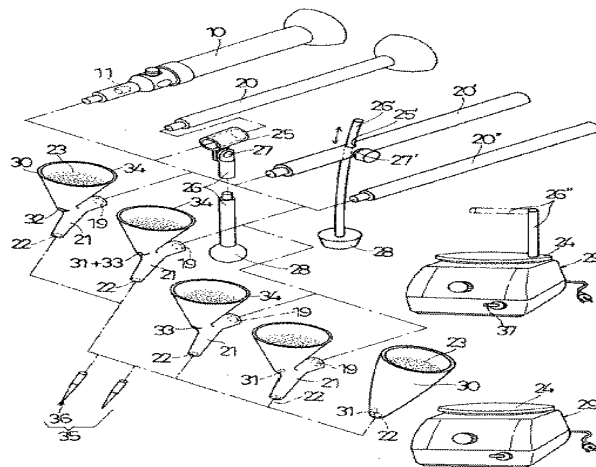
【効果】

歯科用練和物を歯型内面の最深部等の所望の箇所に少量ずつ流量を可変しながら、歯型が十分満たされるまで連続して流し込むことができ、気泡を巻き込むことが少ない。歯型面の変形や損傷を来たさず効果的な残存気泡の除去が可能となり、振動が伝達されただけでは流出口が開かない流量可変構成をもつことにより、作業性が大きく改善される。

【技術概要】

歯科用練和物の流し込み装置は振動発生機構からの振動を、練和物の貯溜部を含む振動伝達手段により伝達し、貯溜部の流出口から流出した練和物を目的箇所へ供給するための柔軟性のチップを振動伝達手段の末端部に設ける。振動発生機構は、本体に内蔵できる。振動発生機構との接触部を有する振動伝達手段によって、柔軟性チップに振動を伝達する方法で振動発生機構を本体の外部に配置することもできる。これにより、歯型内面の最深部等の所望の箇所に少量ずつ、歯型が十分満たされるまで連続して流し込むことができ、気泡を巻き込むことが少なく、歯型面の変形や損傷を来たさず効果的な残存気泡の除去が可能等の効果が得られる。

【特記事項・図面・その他】



本発明に係る歯科用練和物の流し込み装置の実施例1及び実施例2とその変形例1、2、3を示す分解斜視図。